



早稲田大学 日本語教育研究センター

Center For Japanese Language, Waseda University



CJL NEWS

日本語センターニュース

Center For Japanese Language, Waseda University

vol.29
2010.Aug



Contents

日本語センターニュース
Vol.29 2010.Aug

所長のことば 1

生きたコミュニケーションを楽しもう 所長 蒲谷 宏

就任のあいさつ 2

准教授（任期付） 守谷智美
講師（任期付） 尾関 史、黒田史彦、宮崎七湖、八木真奈美

課外活動 5

歌舞伎を楽しもう 陳 姣多

修了生のことば 6

神 輿 ラデキー ジョナサン
自分の夢をかなえよう ピンパコーン バーリダー（フォン）

人物往来 8

新任のことば
助手：金 義泳、宮澤太聡
事務スタッフ：石原早苗、岡安美枝、道祖土哲也、南部昌司、明瀬由美
退任のことば
事務スタッフ：佐藤清彦、遠山美由紀、堀田 学

修了生のみなさんへ 13

修了後の成績証明書・修了証明書等の申請



所長のことは

所長 蒲谷 宏



生きたコミュニケーションを楽しもう

「所長のことは」として、日本語を学ぶということはコミュニケーションそのものを学ぶことだ、日本語のコミュニケーションのしくみを学ぼう、そしてよりよいコミュニケーションを目指していこう、という趣旨のことを書いてきました。今号では、何のためにコミュニケーションをするのか、という観点から考えてみたいと思います。

言うまでもなく、コミュニケーションは人と人とをつなぐための行為です。社会の中に生きる人と人が、そして社会を創る人と人が、何らかの関わりを持つために行うものです。

コミュニケーションは言葉によるものだけではありませんが、言葉によるコミュニケーションが重要であることには、だれも異論はないでしょう。言葉は、人と人とがよりよく生きていくために必要不可欠なものです。私はその意味で、言葉は文化であると考えています。

これまでに何度も、日本語を母語とする人もそうでない人も、〈日本語によってコミュニケーションをするすべての人は「日本語人」である〉と言ってきました。そう考えると、どこの国の人であるとか、どういう母語の人であるとかに関わらず、すべての人が日本語人としては対等な関係でコミュニケーションできるわけです。

日本語教育研究センターで日本語を学ぶ人たちも、教える人たちも、すべてがそうした日本語人としてコミュニケーションをしていると言えるでしょう。現在私が担当しているクラスでは、別科、学部、大学院などの留学生も日本人学生も一緒に学んでいます。授業では、活動の大きな柱としてシンポジウムを企画、実行していますが、そこでも、目的を達成するために、みんなで話し合ったり、メールでやりとりしたりしながら、日本語人としてのコミュニケーションが展開されています。

日本語人として目的を共有しているからといって、コミュニケーションが常にうまくいくなどとは思いません。しかし、あなたのことがもっとよく知りたい、あなたがなぜそのように思うのか、どうしてそういう考えを持つのかかわかるようになりたい、といった気持ちでコミュニケーションをすることによって、人と人とのつながりが生まれてくると感じています。よくわからないことも、難しいことも多いとは思いますが、人と人との輪が広がることによって、コミュニケーションの楽しみも増えてくるのではないのでしょうか。

生きたコミュニケーションは、必ずしも話したり聞いたりすることだけではありません。例えば、小説を読むことも、それは作者との対話だということができるでしょう。読むという行為も、事柄としての内容や言葉の形式だけの問題ではなく、人と人とのコミュニケーションだと考えることで、書き手の気持ちや考えを理解することにつながるのだと思います。

今では、コミュニケーション上の物理的な距離は大きく縮まりました。直接その場でコミュニケーションがとれなくても、電話、メール、インターネット上のやりとりなど、世界中どこにいてもコミュニケーションが成立する環境はかなり整ってきています。日本での学習を終え帰国する人、日本以外の様々な場所で活躍する人たちとも、日本語で様々なコミュニケーションをすることができるようでしょう。それらすべてが人と人とのつながりを目指す、生きたコミュニケーションです。そうしたコミュニケーションを楽しむことで、自分の視野も考えも広がっていくことを期待しています。

就任のあいさつ



じゅんきょうじゅ にんきつき もりや ともみ
准教授(任期付) 守谷 智美

はじめまして。

2010年3月に早稲田大学日本語教育研究センターに来ました、守谷智美と申します。

私は、早稲田大学に来る前は、お茶の水女子大学というバスで10分ほどのところで働いていました。実はここからとても近いのですが、早稲田まで足を伸ばしたことはこれまでほとんどありませんでした。そのため、早稲田大学に来たばかりのとき、都電の走る風景や、学生街らしい食堂など、周りの環境に興味津々でした。わざわざ遠回りして都電で大学に来てみたり、商店街で買い物をしてもらった「アトム通貨」（早稲田・高田馬場で流通している地域通貨）にわくわくしたりと、自分なりの小さな冒険を楽しみました。どこに行っても、その場所で、おもしろいもの、自分が好きになれるものを見つけることを、いつもとても楽しみにしています。

私がここで出会うみなさんが、安心して多くのことが学べ、しかも、自分が「好き!」と思えるものが見つけられ、「ここに来てよかった」と感じるができるよう、私も精一杯努力していきたいと思っています。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



こうし にんきつき おぜき ふみ
講師(任期付) 尾関 史

「自分だけの日本語」を見つけるために

みなさんは、なぜ、日本語を学んでいますか？日本で就職したい、日本の漫画に興味がある、家族に日本とつながりのある人がいる…など、きっとさまざまな理由があることでしょう。

わたしが初めて日本語を教えた相手は、ちょうど今から10年程前、母親に連れられて日本にやってきたある少年でした。初めて彼と出会った時、彼はなぜ自分が日本語を学ぶのか、全くわからない様子でした。ただただ、慣れない日本の環境に戸惑い、不安で今にも泣き出しそうな顔をしていました。そんな彼を前に、私は彼に一体どんな日本語を教えればいいのか、途方に暮れてしまいました。しかし、彼と一緒にいるうちに、少しずつ、彼にとって必要な日本語を見つけることが出来ました。それは、彼が友達を作るための日本語、自分の言いたいことを相手に伝えるための日本語、日本という国で自分らしく生きていくための日本語などでした。

みなさんは、早稲田大学での生活の中できっといろいろな日本語に出会うことでしょう。その中で、ぜひ「自分だけの日本語」を見つけてください。わたしも日本語の授業を通して、そのお手伝いのできたらうれしく思います。どうぞよろしくお願いいたします。



講師(任期付) 黒田 史彦

私が籍を置いているのは日本語教育研究センターですが、最近の私はあまり日本語教育に関心がありません。というのは、日本語「教育」ではなく、日本語「学習」に興味に移ったからです。

日本語学習と聞いて、留学生の皆さんがまず思い浮かべるのは、「教室における授業への参加」だと思います。確かに、授業には教師の知恵やアイデアが存分に盛り込まれているので、学習者にとって非常に有意義な時間だと言えます。また、教室で行うさまざまな活動を通じて、留学生同士がお互いのことを知り、次第に親しくなっていくのは、何物にも代え難い価値ある経験でしょう。

そんな貴重な授業・教室ですが、残念ながら1コマ90分、多い学生でも一週間に20時間程度しかないで、学習の機会は限られてしまいます。しかし、授業や教室が無ければ、本当に日本語学習はできないのでしょうか？ 授業以外の時間、教室以外の場所では、日本語を学ぶことは無理なのでしょうか？

私はそうは思いません。いま日本で生活している留学生の皆さんは、教室の外で、授業以外のかたちで、さまざまな日本語「学習」を行っているはずです。それは一体、どんな学習なのでしょう？ どんな工夫をしているのでしょうか？ どんなコツがあるのでしょうか？ それが私の興味の対象であり、研究の対象です。皆さん、ぜひ教えてください。



講師(任期付) 宮崎 七湖

私は18年前、台湾南部の嘉義という町の日本語学校で、初めて日本語を教えました。ひどい授業をして、落ち込んだことを今でもよく覚えています。もともと大学を卒業してすぐ就職した会社の仕事つまらなくて、そこから逃げ出したいという気持ちで、日本語を教える仕事を始めました。前の仕事をたった2年で辞めてしまった私が、18年間も日本語を教え続けてこられたのはどうしてだろうと考えてみました。

もちろん、日本語の授業をすることが楽しいと思えることが一番の理由です。それ以外にも、自分が成長していけるという感覚が得られたことではないかと思っています。もっと上手に教えたい、では、どうしたらいいのか？自分で考えてやってみる。それは、他の人から見れば、とても小さな、つまらないことかもしれませんが、でも、このような小さな前進から、プロとして成長しているという実感が得られ、それを楽しむことができたのだと思います。逆に考えれば、一つの仕事を長く続けるためには、創意工夫、試行錯誤を繰り返し、それを楽しむことが大切だと言えるでしょう。みなさんは、将来どんな仕事がしたいですか。楽しいと思える仕事が見つかるといいですね。

就任のあいさつ



講師(任期付) やぎ まなみ
八木 真奈美

みなさん、こんにちは。2010年4月に日本語教育研究センターに着任した八木真奈美と申します。着任に伴い3月に関西から転居してきました。よく「大変ですね。」と声をかけていただくのですが、実は私は引っ越しが多く、今まで10回以上いろいろな国や地域を移動しました。確かに落ち着かない生活なのですが、いいこともあります。その一つは、私の中にさまざまな「言葉」が増えたことです。以前「日本語ポートフォリオ」の作成に参加したことがあるのですが、その中に学習者が書かためていく「私にとって大切な言葉」というページがあります。これは学習者の心的辞書を作っていくお手伝いをするものなのですが、私もいろいろな土地を移動したため、大切な言葉が増えました。たとえば「押ささらない」というのは「押せない」という意味の方言ですが、この言葉でしか表現できない状況があり、スタンダードな日本語ではなくても、私にとって大切な言葉の一つです。さまざまな言葉をもつと、留学生の多様な日本語を「間違い!」と言えなくなってくることが私の悩みですが、早稲田大学でも皆さんの豊かで、大切な言葉を増やすためのお手伝いをしたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



チン コウ タ ちゅうごく
陳 姣多 (中国)

「歌舞伎も日本の生活も楽しもう」

歌舞伎という日本の伝統的な舞台芸術は、「世界遺産」になっている。今は世界の中に人類が作った最高の文化の一つとして生きており、日本の誇りと言えるだろう。

私は日本の伝統的文化にとっても興味を持ち、早稲田に来たら、「狂言」「能」のサークルに入り、自分自身でやってみた。最初は難しいと思ったけど、やってみたら、とてもおもしろいと感じた。早稲田で日本語の「伝統文化」の授業を通じて、日本の伝統文化にもっと深く理解できた。来学期、私は「日本舞踊」のサークルにも入りたいと思っている。

交換留学の一年間、歌舞伎も一度でもぜひ行ってみたいと思っていたが、今回の絶好のチャンスにより、私と別科の友達と一緒に本格的な歌舞伎を見ることができた。国立劇場で、歌舞伎十八番の内の「鳴神」という名舞台をよく味わった。

歌舞伎が始まる前に、澤村宗之助先生は皆さんに「歌舞伎の見方」を教えてくれた。おもしろかった。ラッキーなことに、私の席は「花道」の隣だった。「花道」というのは舞台に向かって、廊下のようなものだ。この道を通して、登場人物がよく出たり引込んだりする。俳優と観客が交流できるし、一つの演劇的な感動といえる。「鳴神」の主人公は厳しい修行を積んだ、鳴る神上人という偉いお坊さんだ。ヒロインは宮廷第一の美人、雲の絶え間姫だ。この女性の美しさに負けて、恋の虜になってしまった。人間のありのままの姿なので、このように解りやすい。

劇場を出てから、友達と一緒に楽しく写真を撮ったり、記念物を買ったりした。寮に帰ったら、もっと歌舞伎を知りたいという気持ちが強く、よく調べることにした。

歌舞伎は男が女になりきることは、徹底的に女性の生き方や心理や振る舞いをわがものとして、やや誇張した表現によって美しく強調したのだ。そのほか、よく新聞で、「大見得をきる」という言葉が使われるが、これは歌舞伎から出たものと分かった。



歌舞伎は国境や時代に関係なく、代々の俳優が肉体的に受け継ぎ、洗練を加えて伝えてきた芸だ。今日の人たちを喜ばせ、感動させる力と美しさを持っているそれこそ歌舞伎の美の粋といえる。皆さんもチャンスがあったら、ぜひ歌舞伎を見にいきましょう。

私は日本にいるこの1年間は、いろいろなことをやってみたいので、毎日忙がしく過ごすほど、楽しくなると思う。留学生活には大変なことがたくさんあるが、それこそ人生の宝物だろう。

日本の文化だけでなく、生活も人生の苦勞も、元気いっぱい楽しもう！



修了生のことば

ラデキー ジョナサン (アメリカ)

神輿

留学生の皆は、日本に来てから、さまざまな経験をしたいと思っています。そのため、伝統的なサークルに入ったり、日本を旅行したり、祭りに行ったり、色々な和食を食べたりしています。このような経験もいいけど、私の日本での経験は最も面白かったです。

私は、日本に来た後で友達が少ないから、時々アパートの中で何もしなくてとても暇でした。そこで、8月のあさ、人々の声で外に出てきました。静かな声から、段々大きくなってきました。その時、日本語があまり分からなかったから、何かの宣伝かと思いました。でも、窓口から出て見て、法被を着ている人が神輿を担ぐことを見ました。

その前、写真でしか神輿を見たことがなかったから、すぐにアパートから出かけました。すごかったです。皆さんが笑ったり、明るい法被を着たり、よくしゃべったりしていたから、実に楽しそうでした。ホストファミリーに「町に住んでいる日本人だけ神輿を担げる」と言われたから、神輿を担がせてもらえないと思いました。でも、道で写真を撮って笑っている間に、近くに立っている日本人が私に近づいて「やってみたいの?」と聞きました。

本当にうれしかったです。皆さんと同じような法被をもらって神輿を担がせてもらいました。担いでいる間に、神輿自体が本当に楽しかったけど、皆と一緒に持ち上げる方がとても楽しかった。その神輿を2キロメートル担いで、神社に戻した後で、祭のお祝いがありました。さまざまなスタンドで食品や子供のゲームやおもちゃが売っていました。神輿を担いだ人と話したり、いろいろ会ったばかりの知人と一緒にビールを飲んだり、子供とスタンドのゲームをやったりしました。実に楽しかったです。とても楽しくて、外国人の感じが消えました。このコミュニティーと一緒にあった感覚がありました。



ピンパコーン パーリダー (フォン) (タイ) Pimpakorn Palida (Fon)

自分の夢をかなえよう

私は小学生から日本のマンガとアニメに興味があった。それで、高校時代に日本語を勉強したかったが、自分の学校では日本語部がなかった。そのため、大学で日本語を勉強することにずっとあこがれていたが、残念ながら、合格しなかった。大学を卒業したあとで、日本語を勉強し始めた。つまり、日本語を勉強しながら、仕事をしていたのである。

タイでの日本語学校はほぼ文法を中心に教える。話すクラスが少なく、もちろん作文を書くクラスもない。その理由で、日本に留学することにした。

日本に留学できたのは自分の夢につながっている。私は日本の小説やマンガなどを読むのが大好きなので、翻訳者になりたい。タイにいたとき、日本の小説をタイ語で読んでいた。何回も何回も日本語バージョンを読んだが、読み終わらなかった。しかし、今年初めて読みぬくことができて、うれしかった。大変難しいが、日本語の美しさが徐々に分かるようになった。分かったといっても、まだうまくできないので、もっと頑張りたいと思う。

早稲田大学日本語教育研究センターのおかげで、幅広い知識が学べる。一番気に入ったのは、生の教材を通じて勉強することである。しかも、意見を交換するのを大切にしている、異なった文化を理解するようになった。お友達の意見を聞くと、自分の知らない、分からないことがまだまだ多くある。世界の広さを感じた。

実は、2009年9月に授業を始めたとき、様々な問題で悩んでいて、心細かった。そのあと、お友達の応援と自分の目的を忘れずに、頑張って勉強している。言い換えれば、友情と自分の夢を守るのが不可欠なものというわけである。

楽しい時間は矢のように早く過ぎた。この一年間、皆様にはいつもお世話になって、本当にありがとうございました。私はこの大事な思い出を大切に、日本語を勉強続けたいと思う。



人物往来



助手 金 義泳

みなさん、こんにちは。2010年4月から日本語教育研究センターの助手になった金義泳と申します。よろしくお願いします。

私は、中学生のとき、はじめて在日韓国人の親戚に会いました。そのことが日本語へ興味を持つきっかけとなり、大学で日本語を専攻することになりました。韓国で大学院を卒業し、大学や一般企業で日本語を教えていたとき、学習者の多様なニーズに応えられる教師になりたいと思い、日本への留学を決心しました。留学前、言葉も文化も違う日本でどういうふうに住んで日本人と接し、行動すればいいのか不安になっていたとき、大学の恩師である日本人の先生からこう言われました。「日本へ行っても、どこへ行っても、イヨンさんらしくいられればきっとうまくいく！」この言葉はその後ずっと私の心に残って、日本での留学生活の中で、自分の研究や人間関係などで悩んだりするとき、私を勇気づけてくれました。みなさんも、私と同じように、日本での留学生活の中で、日本語の勉強や人間関係など、いろいろな面で試行錯誤していると思いますが、自分らしく、今を楽しみながら、がんばっていきましょう！

日本、日本語、そして、いろんな国の人と触れ合いながら、今ここで自分なりの楽しみ方を見つけましょう。これから2年間、助手として、みなさんの日本語の勉強や留学生活などを応援していきたいと思います。何か困ったことや話したいことがあったら、いつでも気軽に声をかけてください。



助手 宮澤 太聡

はじめまして、2010年4月から、助手として勤務している宮澤太聡と申します。

私には、もうすぐ1歳になる娘がいます。だんだん、「これがしたい！」という気持ちが強くなってきたようで、自分の思い通りになったときは笑顔になり、そうではなかったときは元気に泣きます。娘の「これがしたい！」の「これ」を推測することは難しく、わからないときもあります。そんなときは、「娘が言葉と話してくれたらいいのに。」と思います。

もちろん、娘の行動、表情などから、「きっとこれがしたいんだろう。」と想像することも大切で、それはそれで楽しいことなのですが、「言葉」を使ってコミュニケーションをすることができれば、もっと簡単で便利になると思います。

みなさんは、私の娘よりも、もっともっと複雑な「意思」を持っているはずです。それを相手に伝えるためには、「言葉」が必要です。また、相手の「意思」を理解するためにも、やはり「言葉」が必要です。

「これがしたいけど、日本ではどうすればいいかわからないし、日本語で書くのも難しそうだから、あきらめよう」といった言葉の制限が原因で、日本での生活が制限されてしまうということがないよう、みなさんの日本語の勉強、日本での留学生活をサポートしていけたらと考えています。これから、2年間、どうぞ、よろしくお願いいたします。



新任 いしはら さなえ
石原 早苗

4月^{がつ}から日本語センター事務所^{にほんごじむしょ}のスタッフの一員^{いちいん}となりました石原早苗^{いしはらさなえ}と申^{もう}します。

私の名前^{わたくし なまえ}の「早苗^{さなえ}」という言葉^{ことば}は、「田植^{たう}え前の稲^{まえ いね}の若苗^{わかえ}」のことです。この言葉^{ことば}は「夏^{なつ}・五月^{ごがつ}」を表す「季語^{きご}」という言葉^{ことば}です。私が五月^{ごがつ}に生まれたので父^{ちち}が命名^{めいめい}してくれました。

名前^{なまえ}のせいかわかりませんが、私は季節^{わたくし きせつ}の行事^{ぎやうじ}が大好き^{だいす}です。

五月五日^{ごがついつか}の端午^{たんご}の節句^{せっく}には「鎧兜^{よろいかぶと}、こいのぼり^{こいぼり}」を飾^{かざ}り、「柏餅^{かしわもち}」を食^たべて、「菖蒲湯^{しょうぶゆ}」（湯^ゆぶねに菖蒲^{しょうぶ}を入^いれます）に入^{はい}りました。お風呂^{ふろ}が大好き^{だいす}な私は、頭^{わたくし あたま}に菖蒲^{しょうぶ}の葉^はを結^{むす}んで、葉^はを「ぴゅーぴゅー」と鳴^ならし（邪気^{じゃき}を払^{はら}うといわれています）のんびり^{ながゆ}長湯^{ながゆ}をして、「湯あたり^{ゆあたり}」をしてしまいました。おっちょこちょい^{おっちょこちょい}なところもあります。

私は音楽^{わたくし おんがく}も大好き^{だいす}で「Peter, Paul & Mary」のコピーバンド^{コピーバンド}をしています。ご存知^{ごんじ}の方は少^{すく}ないと思いますが「PUFF」という曲^{きょく}を歌^{うた}ったバンド^{バンド}です。英語^{えいご}の曲^{きょく}を歌^{うた}っていますが、英語^{えいご}は苦手^{にがて}です。どうぞ日本語^{にほんご}で話^{はな}しかけてくださいね。

皆さん^{みな}の日本^{にほん}での日々^{ひび}が、みなさん自身^{じしん}が主人公^{しゅじんこう}の「人生^{じんせい}という物語^{ものがたり}」の素晴^{すば}らしい一頁^{いちぺーじ}となるように願^{ねが}っています。



新任 おかやす みえ
岡安 美枝

皆さん^{みな}こんにちは。4月^{がつ}から日本語センター事務所^{にほんごじむしょ}に勤務^{きんむ}している岡安美枝^{おかやすみえ}と申^{もう}します。皆さん^{みな}は初^{はじ}めて日本^{にほん}に來^きた人^{ひと}もいれば、もう何度^{なんど}も滞在^{たいざい}している人^{ひと}もいると思います。初^{はじ}めての人^{ひと}はまづ大学^{だいがく}近^{ちか}くの早稲田^{わせだ}の町^{まち}を歩^{ある}いてみることをお勧^{すす}めします。

私も昨^{わたくし さくねん}年から早稲田大学^{わせだだいがく}で働^{はたら}き始め^{はじ}めたばかりなのですが、おいしいカレー^{カレー}や餃子^{ぎょうざ}のお店^{みせ}、気^きになる和菓子屋^{わがしや}さん、昔^{むかし}ながらの定食屋^{ていしょくや}さんなど色々^{いろいろ}開拓^{かいたく}しました。残念^{ざんねん}ながらまだおいしいお酒^{さけ}が飲^のめるお店^{みせ}は開拓^{かいたく}していないので、これは今後^{こんご}の課題^{かだい}です。

映画^{えいが}も好き^すなので、高田馬場駅^{たかだばばえき}近^{ちか}くの映画館^{えいがかん}『早稲田松竹^{わせだしょうちく}』にも行^いきました。ここは話題^{わだい}の映画^{えいが}が2本^{ふたぽん}立てて安^{やす}く見^みられます。こういう映画館^{えいがかん}は「名画座^{めいがざ}」と言って以前^{いぜん}は沢山^{たくさん}あったのですが、最近^{さいきん}は減^へっているので行^いく価値^{かち}は大^{だい}です。

外国^{がいこく}での暮^くらしは心細^{こころぼそ}いことも多^{おほ}いと思いますが、せつかくの一年^{いちねん}間^{かん}「誰^{だれ}かに話^{はな}したいな」と思うような体験^{たいけん}を沢山^{たくさん}してください。そしてぜひカウンターの私^{わたくし}にも「日本語^{にほんご}」で話^{はな}しかけてください。皆さん^{みな}を応援^{おうえん}しています。

人物往来



新任 道祖土 哲也

はじめまして。事務所で一番背が高い道祖土 哲也と申します。私は6月に法学部事務所から移ってきました。法学部の学生は日本人ばかりでしたが、別科生にはいろいろな国の人がいて、とても楽しいですね。日本語センターに来て良かったです。

私の苗字 (Family name) は難しく、日本人でもなかなか読めませんので、説明いたします。みなさんは道祖神という神様を知っていますか？ この神様は道の守り神です。東京ではあまり見ることが出来ませんが、地方の村と村の境にあり、その村を守っています。その道祖神が私の苗字と関係あるのです。道祖神を本当は「さいのかみ」と読み、道祖土の“道祖”と同じなんです。みなさんのFamily nameにはどのような由来がありますか？早くみなさんと仲良くなって、Family nameの由来を聞いてみたいと思います。よろしくお願いします。



新任 南部 昌司

皆さんこんにちは!! 今年3月に国際教養学部を卒業し、4月に職員となり、2ヶ月間の研修を経て、ようやく6月より日本語教育研究センターに配属されました南部昌司です。

少し経歴を申しますと、1987年に大阪で生まれ、東京にすぐに移され、その後イラン→日本→アメリカのテキサス→日本→大学時にアメリカのボストンに留学と、各地を転々とする人生を送ってまいりました。その中で英語力なども向上しましたが、それ以上に「人との出会い」のすばらしさを実感するようになりました。新しい環境では問題、苦労などはたしかにありますが、母語以外の言語を使って人とコミュニケーションを図り、異なる文化、習慣、考えなどに触れることはなかなかできないことです。それだけで、視野・考え方も広がりますし、国境を越えた絆も生まれます。日本に来た留学生の皆さんにも、日本語を学ぶと同時に、このチャンスを大事にして、多くの人と交流してもらいたいと思います。

まだまだ質問全てにお答えできるほどの、知識、スキルはありませんが、微力ながら皆さんが充実した留学生活を送れるよう、全力でサポートしたいと思っています！ またフットサル、サッカーが大好きなので、共に日本語・英語を交えながら気軽にやりましょう!! よろしくお願ひします!!



新任 明瀬 由美

4月1日から事務所にきました明瀬です。

私の名前ですが、漢字は特に難しくないのですが、読み方が「重箱読み」と言って珍しいので、いつも「あきせさん」とよばれますが、「みょうせ」です。

事務所にきて、もう4ヶ月以上たちますが、22号館の国際色豊かな雰囲気にどこか異国に来ているような感じがします。そして私が学生時代に短期留学したことをなつかしく思い出しています。

あれから長い年月が経ちますが、今でも色あせることなく私の胸によみがえるのは、カナダの雄大な自然、数々の美しい観光スポット、おいしかったキングサーモン、そして何よりも現地の方々のやさしさや、さりげない日常のふれあいです。

留学生のみなさんも、たくさんの期待と不安をもって日々過ごされていることでしょう。

少しでもみなさんの日本での留学生活が快適で、充実したものにになりますように、全力でサポートしたいと思っていますので、お気軽に事務所に相談に来てください。



退任 競技スポーツセンター 佐藤 清彦

別科生のための TO DO LIST

別科生の生活は本当に短いもの。充実した留学生生活を過ごせるよう、チェックしてみよう。

- | | |
|--|--|
| ☐ 別科日本語専修課程を修了すること。*1 | ☐ 早慶戦に行くこと。*6 |
| ☐ 良い先生・良い授業と出会うこと。*2 | ☐ 早稲田大学校歌を歌うこと。*7 |
| ☐ 一生つきあえる友人と出会うこと。*3 | ☐ 東京の街を歩くこと。*8 |
| ☐ サークルに入ること。*4 | ☐ 旅に出ること。*9 |
| ☐ 早稲田大学のキャンパスを歩くこと。*5 | ☐ また、日本に来ること。*10 |

- *1 全出席、オールA+、26単位合格をめざそう。
- *2 あなたにとってのオンリーワン授業を見つけよう。
- *3 世界中の優秀な留学生、早稲田大学のローカル学生との交流はあなたの宝。
- *4 早稲田のサークル活動は日本の大学で最大規模。同じ趣味の仲間をつくろう。
- *5 中央図書館、演劇博物館、ジム、プール、ICCを使おう。
- *6 必修。
- *7 早慶戦に行けば、歌えるようになります。
- *8 東京のいろいろな顔を見てみよう。地下鉄や電車に乗ったり、自転車でのお散歩もグッド。
- *9 横浜、鎌倉、箱根、日光、京都、大阪、沖縄……。あなたはどこにいきますか？
- *10 心の故郷、早稲田のキャンパスを訪ねてみてください。また、会えるといいですね。

人物往来



退任 とおやま みゆき
遠山 美由紀

日本語センターで3年間勤務し、5月31日をもって退職しました遠山です。

現在は、8月に出産予定のため、自宅でゆっくり過ごしています。

私には今、小学1年生の息子がおり、毎日のように「ひらがな練習のプリント」、「教科書数ページの音読3回」（二つとも親が添削します）が宿題で出されています。

例えば、「し」がつく言葉を4つ書いてください」という問題。

しおり、しんじゅく、しんかんせん、しんぶん、など、何でもいいので“し”がつく言葉をプリントに書いていきます。息子が思いつかない時は私がヒントを出してあげ、それでわかった時は「すごいね〜!」とほめてあげます。

そうすると息子はご機嫌になり、毎日帰ったらすぐに宿題をやるようになりました。

留学生のみなさんにもこんなふうに楽しみながら日本語をおぼえてほしいです。人と楽しみながらおぼえた日本語は忘れられないと思いますので。

今後も早稲田の留学生を応援しています。



退任 しょうがくがくじゅつじん ほった まなぶ
商学学術院 堀田 学

2010年1月末で日本語センターを離れました堀田学です。2006年3月から日本語センターにいましたので、ほぼ4年いたことになります。

日本語に「縁（えん）」という言葉があります。私はこの言葉が好きです。日本語センターで仕事をして、いろいろな国の方と話ができたのは「縁」だと思っています。

別科には様々な国から日本語を学ぶためにやってきます。アニメや音楽、日本の文学に興味を持って日本語を勉強している人や、これまでの日本の経済発展を母国で活かすために日本語を勉強している人など目的は様々です。多様な目的を有している人が、同じ時期に早稲田大学に来て日本語と一緒に勉強することになったということも「縁」だと思っています。そして、私が日本語センターで仕事をしているときにカウンターでお会いできたのも「縁」だったわけです。いろいろな人との出会いを「縁」という言葉を通じて見てみると、深みが出てくるような気がしませんか？

今学期で別科を修了する皆さんも「縁」という言葉で、一年間を振り返ると今までとは違った一年が見えてくるかもしれません。

修了生のみなさんへ

修了後の成績証明書・修了証明書等の申請

修了後に成績証明書・修了証明書等を申請したい場合、下記の方法で申し込むことができます。
(証明書代 2010/9/21以降 1枚 300円)

【1】 本人が日本語センターで、直接申し込む場合

1. 「本人の身分証明書 (学生証・パスポート・外国人登録証)」
2. 「費用 (現金)」

【2】 本人が郵送で申込み、日本国内へ返信する場合

1. 「申込用紙」[pdf] (氏名、ローマ字氏名、生年月日、住所、電話番号、E-mailアドレス、卒業年月、学籍番号、必要な証明書の名称、枚数)
2. 「本人の身分証明書 (学生証・パスポート・外国人登録証) のコピー」
3. 「証明書費用 (定額小為替)」日本国内の郵便局で「定額小為替 (300円×証明書枚数)」を購入してください。
4. 「郵送料 (切手)」日本国内の郵便局で「切手」を購入してください。

【3】 本人が郵送で申込み、海外へEMSで返信する場合

1. 「申込用紙」[pdf] (氏名、ローマ字氏名、生年月日、住所、電話番号、E-mailアドレス、卒業年月、学籍番号 (不明のときは不要、必要な証明書の名称、枚数))
2. 「本人の身分証明書 (学生証・パスポート・外国人登録証) のコピー」
3. 「IRC (International Reply Coupon)」または「IPMO (International Postal Money Order)」
* 銀行ではなく必ず郵便局で購入してください。
「証明書費用」と「EMS郵送料」の合計をまとめて購入してください。

【4】 本人が郵送で申込み、海外へAIRMAILで返信する場合

1. 「申込用紙」[pdf] (氏名、ローマ字氏名、生年月日、住所、電話番号、E-mailアドレス、卒業年月、学籍番号 (不明のときは不要、必要な証明書の名称、枚数))
2. 「本人の身分証明書 (学生証・パスポート・外国人登録証) のコピー」
3. 「IRC (International Reply Coupon)」または「IPMO (International Postal Money Order)」
* 銀行ではなく必ず郵便局で購入してください。
「証明書費用」と「AIRMAIL郵送料」の合計をまとめて購入してください。

【5】 代理人が、日本語センターで直接申し込む場合

1. 「申込用紙」[pdf] (氏名、ローマ字氏名、生年月日、住所、電話番号、E-mailアドレス、卒業年月、学籍番号 (不明のときは不要、必要な証明書の名称、枚数))
2. 「本人の身分証明書 (学生証・パスポート・外国人登録証) のコピー」
3. 「費用 (現金)」
4. 「本人自筆による委任状 (本人氏名、代理人氏名、代理人との関係、署名・捺印、日付、(家族・友人である○○に委任する……等) 主旨を記入してください)」
5. 「代理人の身分証明書 (学生証・パスポート・外国人登録証)」

宛 先

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-7-14
早稲田大学日本語教育研究センター「証明書」係

※詳細につきましては下記のホームページを参照してください。

<http://www.waseda.jp/cjl/index.html/certificate.htm>



日本語センターニュース 第29号
2010年8月23日発行

発行

早稲田大学日本語教育研究センター

CENTER FOR JAPANESE LANGUAGE
WASEDA UNIVERSITY

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-7-14
1-7-14, Nishi-Waseda, Shinjuku-ku, Tokyo 169-8050
TEL : 03-5273-3142 FAX : 03-3203-7672
E-mail : cjl@list.waseda.jp
URL : <http://www.waseda.jp/cjl>